

今がその時！

新たな一歩予算



平成30年度は、第2次伊豆の国市総合計画がスタートして2年目となります。市政運営の転換期をむかえ、今ここで着手しなければならぬ事業にとりかかるため積極的な将来への投資を行います。

第2次総合計画で定めた伊豆の国市の将来像「ほんわり湯の国、美しく、歴史文化薫る国、未来を拓く伊豆の国」の実現に向け、7つの基本方針に沿ったまちづくりを進めていきます。

※平成30年度伊豆の国市予算は、財務課窓口（伊豆長岡庁舎）で閲覧できます。

☎ 055(948)1414
市役所財務課

1 豊かな自然に

抱かれる伊豆の国市

■**広域廃棄物処理施設整備事業**
4349万3千円

伊豆市伊豆の国市広域廃棄物処理施設の整備に向けた一部事務組合への負担金を支出します。平成34年度稼働に向けて準備を進めます。

■**古奈地区公園整備事業**
3000万円

大観宮跡地の市有地に、古奈温泉街の憩いの場となる公園を整備しています。整備の最終年度として、平成30年度の完成を予定しています。

■**花のまちづくり・花のおもてなしの推進【拡充】**
500万円

■**屋外広告物の是正推進【新規】**
550万円

■**6次産業化・地産地消の推進**
505万1千円

地域おこし協力隊により、農産物直売施設「大仁まごころ市場」の経営支援、農産物の情報発信などを行います。

■**葦山中央農道拡幅改良事業**
1億886万2千円

葦2・3号線（通称葦山中央農道）の老朽化した農業用水路を移設改修し、道路部分を拡幅する整備を行います。

■**創業者等への支援【拡充】**
460万円

■**宿泊業就労支援【拡充】** 252万円

■**住宅新築及びリフォーム助成** 2050万円

■**店舗リフォーム助成事業** 1000万円

2 伊豆の国市に

しごとをつくる

3 伊豆の国市に新しい

ひとの流れをつくる

■**静岡（デスティネーション）キャンペーン推進事業【拡充】**
3000万円

1万円分のタクシー等利用券を交付します。

■**し尿処理場整備事業【拡充】**

■**田京駅前交差点改良事業【新規】** 4185万7千円

■**深沢橋架替事業【新規】** 6516万円

■**山間地域水道移管整備【拡充】** 4070万円

■**バス・鉄道利用促進事業** 1億4277万6千円

■**庁舎建設基金** 1億円

4 歴史に学び、未来を

拓く伊豆の国市

■**葦山反射炉保存管理事業**
4191万3千円

葦山反射炉を後世に引き継いでいくために、反射炉の現状調査を行い、的確な修理保全計画を立案します。

■**郷土資料収集物保存施設整備事業**
1493万5千円

5 子育ても人生も

楽しい伊豆の国市

■**三世代同居促進事業**
300万円

親世帯と子育て世帯の同居を希望して住宅取得または増築をする人に、補助を行います。

■**子育て世帯包括支援センター事業【新規】**
44万3千円

6 安全で安心な

伊豆の国市のまちづくり

■**斎場整備事業**
2億2024万3千円

老朽化した長岡斎場に替わる新たな斎場施設建設に向けた、実施設計、許認可申請、造成工事などを実施します。

■**運転免許証自主返納推進事業【新規】**
200万円

免許返納者に対し、返納の翌年度に

7 みんなで創る

伊豆の国市

今後予定している庁舎建設のために莫大な費用がかかることが予想されるため、引き続き積み立てをします。

■**市民提案型ハートナーシップ事業** 141万6千円

■**ふるさと寄附金推進事業** 7036万円

■**市政情報発信事業** 692万9千円

“今がその時！” 新たな一歩予算

平成30年度の一般会計予算額は、187億2千万円で、過去最大の予算規模となりました。
本年度は経常的経費の抑制に努めつつも、生活に直結する社会資本の整備など、今後の伊豆の国市にとって必要な事業へと例年以上に配分しました。伊豆の国市の魅力を高め、さらなる発展へ一歩踏みだしていくための施策を推進していきます。
市役所財務課 ☎055-948-1414

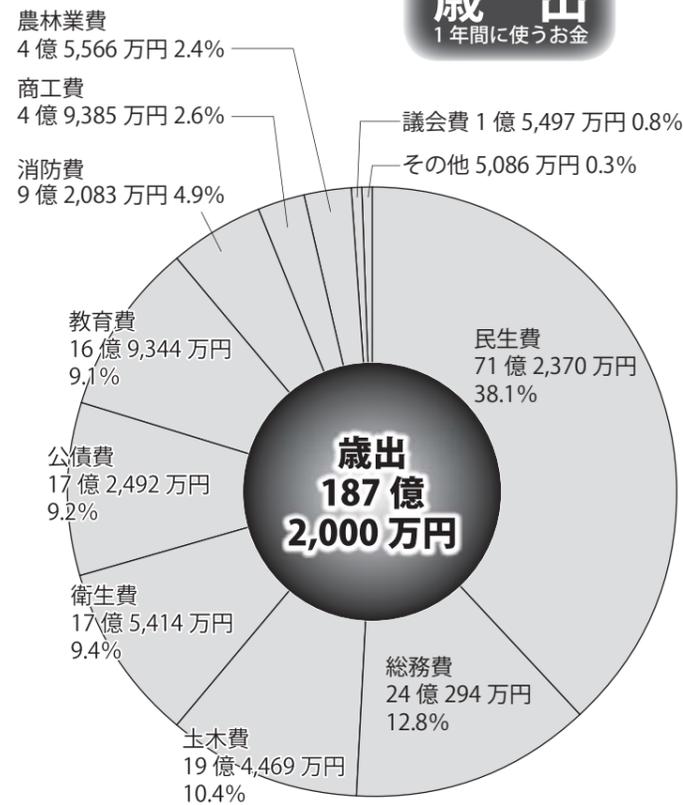
平成30年度当初予算の概要

■一般会計■

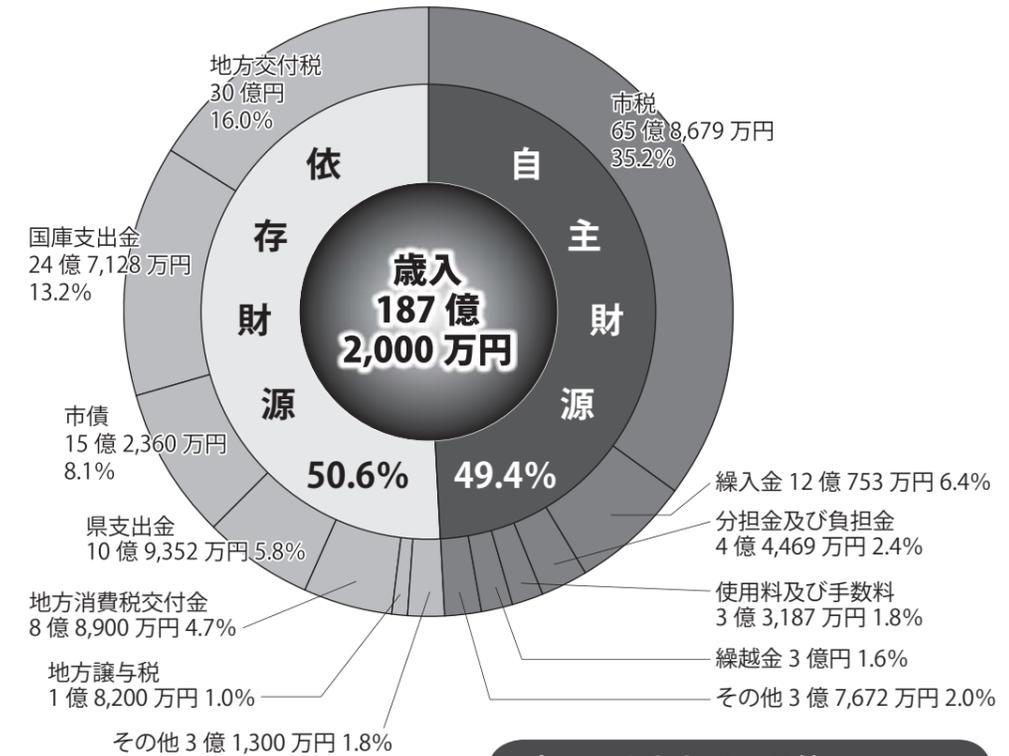
*一般会計とは、地方公共団体の中心となる会計で、行政運営の基本的な経費を表します。

187億2千万円

歳出 1年間に使うお金



歳入 1年間に入るお金



市民一人あたりの予算
37万9,739円の使い道
※平成29年10月1日現在の住民基本台帳人口(49,297人)で算出しています

■特別会計ほか予算額■

■特別会計■ 121億1,600万円

国民健康保険	59億2,000万円
後期高齢者医療	5億8,000万円
介護保険	40億1,900万円
楠木及び天野揚水場管理	1,500万円
簡易水道等事業	2億4,000万円
下水道事業	13億4,200万円

■上水道事業会計■ 10億4,438万円

■基金の状況■

基金名	平成30年度末 残高見込額
財政調整基金	26億1,715万円
減債基金	7億2,874万円
福祉対策基金	7,219万円
教育振興基金	2,322万円
ふるさと・水と土基金	2,606万円
環境基金	130万円
ふるさと応援基金	2億422万円
葦山反射炉保全基金	9,505万円
志龍塾教育基金	1,438万円
庁舎建設基金	2億5万円
温泉保護対策基金	2,002万円
土地取得基金	1億128万円
収入印紙等購入基金	600万円
その他	4万円
国民健康保険 保険給付等支払準備基金	3億5,186万円
国民健康保険 高額医療費資金貸付基金	900万円
介護給付費準備基金	3億4,632万円
楠木・天野揚水場 管理基金	3,500万円
合計	48億5,188万円

■市債の状況■

会計名	平成30年度末 残高見込額
一般会計	183億8,229万円
簡易水道等事業特別会計	4億6,840万円
下水道事業特別会計	36億8,984万円
上水道事業会計	8億2,013万円
合計	233億6,066万円

※このうち約60%は今後、普通交付税として組み込まれる見込みです。

